

平成29年度 専門学校東京国際ビジネスカレッジ

自己評価報告書

平成30年5月1日

学校法人創志学園



専門学校 **東京国際ビジネスカレッジ**
TOKYO INTERNATIONAL BUSINESS COLLEGE

1. 学校の教育目標

幅広い外国語教育と国際感覚を兼ね備えたビジネスのスペシャリストを養成するための専門教育及び人格形成に必要な教育を行うことを目的に掲げ、国際社会において通用する専門性の高い知識と教養を修得する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

(1)21 カ国出身の学生が共に学ぶ国際色豊かな環境をフルに活用し、ホスピタリティ教育、英語教育、協調性(チームワーク)などを身に付けさせ、希望する進路へ導けるカリキュラム展開を行っていく。

(2)留学生においては、各種日本語テスト対策だけではなく、即戦力として活用できる日本語力育成を目標として、日本語教育向上を目指していく。

(3)ホスピタリティ実践コースで専門知識の習得を通じ、ホテルへの就職を可能とする進路指導を行っていく。

(4)Management & Business English コースにおいて、英語を母国語としない学生でTOEIC550点以上の者を中心とした学生募集を行い、BATIC(英文会計)及び日商簿記のダブル合格を目指すと共に、国内における外資系企業への就職を可能にする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1).教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	④ 3 2 1

【総括・特記事項】

・学校の理念・目的・育成人材像について、教職員がしっかり理解し、学生へは授業を通じ伝えている。また、学校案内やホームページなどに記載し、対外的に周知させている。

・保護者へは、入学式・卒業式への案内状を通じ、式典への列席を促し、式典を通じ当校をより良く知ってもらうようにしている。

・保護者会を開催し、教育理念・目標を周知させている。

(2). 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方法が策定されているか	④ 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	④ 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	④ 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④ 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

【総括・特記事項】

- ・教職員全体会議を月1回開催すると共に、授業展開に関する教職員セミナーを通じてホスピタリティの理解を深め、チームワーク強化を行い、現場力向上に努めている。
- ・学校の目的、目標達成のため、企業より情報を求めている。
- ・事務局における業務分掌の見直しを行い、業務の効率化を図る。また、教務プロジェクトの業務の見直しを行い、更なる効率化を図るとともに学校運営力向上を目指している。
- ・ホームページだけではなく、年間に数回ニュースレターを作成し、出身学校へ送り、教育活動に関する情報公開を行っている。
- ・学校関係者評価委員会報告書については、情報公開のための準備を行っている。
- ・学生の学籍管理はデータ化されており、出席証明書、成績証明書等の発行業務の効率化が図られている。

(3). 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 ② 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。	④ 3 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④ 3 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④ 3 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

【総括・特記事項】

- ・関連分野における実践的な職業教育として、提携先企業でインターンシップを実施している。
 - ・教員の指導力育成などの資質向上のため、外部研修へ参加することを奨励している。
 - ・欧米からの学生が入学し多国籍化が進んでいることから、アジア圏出身学生との文化の違いを把握した上での学生指導を行っている。
 - ・英語教育における教材及びクラス構成の見直しを行い、学内全体の英語力向上を目指している。
- ターゲットとなりうる学生たちの取り巻く環境の変化に合わせたコース作りを目指し、各コース長を中心にカリキュラム内容の見直しを行う。各コースのターゲット学生の明確化を行うと共にターゲットに合った募集活動に繋げている。

(4). 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・退学率の低減が図れているか	④ 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

【総括・特記事項】

- ・学内で企業説明会を開催し、就職活動を早期にスタートできるように十分に指導している。
- ・教職員から構成されている進学(大学、大学院)プロジェクト及び就職プロジェクトを中心に更なる進路指導強化を行っている。主に、大学院進学セミナーや学内企業説明会などの開催、各コースで実施している進路合宿や資格取得(日商簿記3・2級、TOEIC 600点以上他)などを通じて、1年次からの意識改革を継続している。
- ・クラス担任制により学生一人ひとりのきめ細かいケアを行い、退学率の低減を行っている。

(5). 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	④ 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教員環境が整備されているか	4 ③ 2 1
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の 取組が行われているか	4 3 ② 1

【総括・特記事項】

- ・ビジネス特別講義を開講し、大和リゾート株式会社 代表取締役社長 柴山良成氏、グランドハイアット東京コンシェルジュ 阿部 佳氏に講義を行っていただいた。
- ・出席率・成績・授業態度においては、クラス担任より保護者へ連絡を行っている。また、適宜学生の家庭訪問実施し、学生の生活状況把握に努めている。
- ・卒業生には、学内で実施している資格対策講座を受講できるようにしている。受講料は徴収していない。
- ・同窓会の開催を通じて卒業生の後追い調査を実施し、学生募集や在校生の就職などに活かしていく。

(6). 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

【総括・特記事項】

- ・避難訓練を実施し、非常時における教職員の役割を把握するとともに、学生へも非常時の行動を指導している。
- ・施設の充実を目標とし、2号館建替えを含む1号館の修繕及び定期清掃を実施している。
- ・災害時で使用する水・カンパン・簡易トイレ等を備蓄している。

(7). 学生の受入募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

【総括・特記事項】

- ・一般生募集においては継続して知名度向上及び高校生（高校教師）が求めるカリキュラム構築に努める。また、募集方法、販促物、オープンキャンパスの内容については抜本的な見直しを行っている。
- ・国内留学生、海外留学生、一般生学生など各セグメントにおける学生募集のあり方を再確認すると同時に各コース長と連携したコース開発を行った上で募集戦略を立案し遂行していく。・全教職員で学生募集活動を実施している。
- ・学校説明会において、教育成果を正確に伝えている。
- ・入学選考方法については、募集要項に明記し、適切かつ公平な基準に基づき行われている。
- ・学納金については、学生および保護者の負担を軽減するために、本校独自の奨学金や分納制度を利用できるようにしている。

(8). 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
・財務について会計検査が適性に行われているか	④ 3 2 1
・財務情報公開に体制整備はできているか	④ 3 2 1

【総括・特記事項】

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定している。
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっている。
- ・会計検査が適正に行われている。
- ・学園ホームページにて公開している。

(9). 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④ 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

【総括・特記事項】

- ・法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な運営を行っている。
- ・全教職員で個人情報の扱いに十分注意し、管理している。
- ・自己評価の点検項目について今後も検討を重ねていく。
- ・ホームページにて自己点検・自己評価表の公開を行っている。

(10). 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託等積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

【総括・特記事項】

- ・浅草橋紅白マロニエ祭り、浅草地域帰宅困難者及び外国人観光客対応訓練ボランティア等に学生が積極的に参加している。
- ・地域に対する公開講座・教育訓練の受託については、積極的に受け入れていきたい。

(11). 国際交流

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・留学生の受入れ・派遣について戦略を行っているか	④ 3 2 1
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	④ 3 2 1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	④ 3 2 1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	④ 3 2 1

【総括・特記事項】

- ・学生の学修・生活指導において学内で適切な体制が整っている。学生のアルバイト先の情報を把握している。
- ・日本留学 AWARDS 大賞受賞。(財)日本語教育振興協会が主催し、日本全国 400 校を超える日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先として、専門学校部門の上位ノミネート校として 5 年連続表彰され、大賞を受賞した。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校の教育理念・目標を学生に対して理解、共有を徹底させるため、全学科を対象とした「ホスピタリティ」の授業を展開している。また、スポーツイベントやプレゼンテーションコンテストなどの学校行事を通じ、チームワーク育成、他者を思いやる気持ちを大切にすることを理解する機会を設けている。今後も取り組みを継続し、更なる「ホスピタリティ精神」の浸透を図る。

グローバル化の進展に伴い多様化している学生にニーズに応えるため、教職員に対する学外セミナーを活用しての研修を継続している。今後は学内でのSD/FD研修(講義ピア評価、理念の理解など)を充実させ、教職員への教育理念・目標の共有を徹底すべく取り組みの強化を図る。

学生のモチベーション向上及び卒業後の進路に対する目標設定を明確にするため、学内企業説明会、進路対策セミナーなどを開催した。また、更に高度な専門知識を習得するため、既存の資格対策を目的としたゼミナールを強化した。それにより、資格検定取得者数は向上している。今後はより高度な専門知識習得を視野に入れた授業体制の強化を図る。

企業との連携については、就職対策プロジェクトの教職員を中心に学内企業説明会を開催している。近年学生側からも企業側からもニーズが増しているホテル業界での就職を視野に入れた取り組みを強化している。また、地域との連携においても、これまでの浅草地域、浅草橋地域のボランティアに継続参加し、地域社会への貢献を継続している。

企業の労働環境の変化、グローバル化の進展に伴う企業ニーズの変化を考慮しながら、変わらずに求められる「ホスピタリティ精神」を持った人材を育成するため、本校の教育理念を理解し、高い国際感覚と語学力を持つ専門人材の育成に向けた取り組みを今後も強化していく。